

授 業 名 科 目 名	統 計 学	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	池 田 卓 矢	単 位 数	2単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>医療や福祉の現場では治療やリハビリの成果を客観的に評価しなければ信頼ある活動につながらない。その場合、現代では統計学の手法が科学的に最前線的手段とみなされている。この授業では、統計学の考え方や臨床データへの適用の方法などを学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>統計学の基礎を理解する。統計学の基本的な手法の理解を行う。リハビリテーション領域にてよく使用される統計手法の適切な選択ができるようになる。統計出力されたデータの正しい統計分析の理解ができるようになる。</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	統計学の基礎		
第 2 回	データの尺度・特性値・グラフ		
第 3 回	データの尺度・特性値・グラフ（演習）		
第 4 回	推定と検定の基礎		
第 5 回	2標本の差の検定（パラメトリック検定）		
第 6 回	1標本の差の検定（パラメトリック検定）		
第 7 回	差の検定（ノンパラメトリック検定）		
第 8 回	差の検定（演習）		
第 9 回	相関		
第 10 回	相関（演習）		
第 11 回	回帰分析		
第 12 回	重回帰分析		
第 13 回	分割表とX ² 検定		
第 14 回	分割表とX ² 検定（演習）		
第 15 回	まとめ		
評価方法	定期試験（70%）と演習課題（30%）にて評価する。		
教 科 書	〔教科書〕 リハビリテーション統計学		
履修上の 留 意 点	必要に応じて電卓・PC・計算・グラフ・表計算が簡易的にでも行えるようにお願いします		
メッセージ	統計学検定の3級～2級手前相当の内容とリハビリテーション領域にてよく使用する手法の概要となります。EBMを実践する上で統計学の知識は重要になります。どのような統計解析法を適応させ、結果の意味合いをどのように解釈するかなどについて基礎知識を身につけられるよう取り組んでください。		